

第3次緑の森づくり新生プランの進捗状況（令和7年度）

◆ 重点的な取組事項

1 森林の整備に係る重点的な取組

効率的な森林整備及び森林の状況に応じた適切な管理等を推進する。

〔目標〕 事業量を「森林整備面積」で500ha、「作業路等」で25,000mとする。

〔実績〕 事業量を「森林整備面積」で380ha実施し、「作業路等」で23,646mの作設を行った。

〔評価〕 作業路等の整備を重点的に行った結果、森林整備面積は目標の76%、作業路等についてはほぼ目標どおりの95%となった。

（単位：ha、m）

区 分		取組内容	現況値	R6	R7	R8	R9	R10目標値
森林整備面積 (ha)	計 画	1年間に間伐等の森林施業を実施する面積		500	500	500	500	500
	実 績		430	428	380			
	達 成 率			86%	76%			
作業路等 (m)	計 画	1年間に整備する作業路等の延長		25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
	実 績		19,918	30,601	23,646			
	達 成 率			122%	95%	0%	0%	

※現況値は、令和元年度～4年度の4か年平均値。

※森林整備に係る事業費（参考数値）

（単位：千円）

区 分		取組内容	現況値	R6	R7	R8	R9	R10目標値
森林整備事業費	計 画	1年間に間伐等の森林施業の実施に係る事業費		413,000	413,000	413,000	413,000	413,000
	実 績		341,379	365,681	361,876			
	達 成 率			89%	88%	0%	0%	

※ 作業路等の整備に要する事業費を含む。

2 木材の生産と収入確保に係る重点的な取組

積極的に間伐材を搬出し、さらなる販売収入を確保する。

〔目標〕 間伐材の販売収入を68,000千円確保する。

〔実績〕 搬出を伴う間伐を224.42ha実施し、57,991千円の販売収入を確保できた。

〔評価〕 間伐材販売収入は、搬出材積が少なかったため目標額の85%となった。

（単位：千円）

区 分		取組内容	現況値	R6	R7	R8	R9	R10目標値
収入見込額	計 画	木材販売収入額		68,000	68,000	68,000	68,000	68,000
	実 績		51,891	60,423	57,991			
	達 成 率			89%	85%	0%	0%	

※現況値は、令和元年度～4年度の4か年平均値で、公社実施分のみ。

3 財務状況の改善に係る重点的な取組

管理経費（物件費）節減の検討を行う。

〔目標〕 現況値を維持し、5,500千円以内の支出にとどめる。

〔実績〕 物件費実績額は、5,617千円となった。

〔評価〕 計画目標は達成できなかったが、社用車のエアコン故障による修理代（214千円）とMicrosoft Office2016・2019のサポート終了に伴うOffice2024購入代（308千円）を除くと物件費実績額は5,095千円となり、管理経費の節減は実行できた。また、社用車の配置を見直し、1台売却して収入（254千円）を得るなど、財務状況の改善を図った。

（単位：千円）

区 分		取組内容	現況値	R6	R7	R8	R9	R10目標値
物件費所要額	計 画	物件費（旅費交通費、需用費、通信運搬費、会議費及び什器備品費の合計額）		5,500	5,500	5,500	5,500	5,500
	実 績		5,568	6,117	5,617			
	達 成 率			111%	102%	0%	0%	

※現況値は、令和元年度～４年度の４か年平均値。
分収林契約適正化事業に要する経費を除く。

4 土地所有者の協力による分収割合の見直し

県、社員市町村等からの支援を受けながら、引き続き分収割合の契約変更を推進する。

〔目標〕 分収割合について、20件の変更契約の締結を行う。

〔実績〕 145件の変更協議を行い分収割合の変更に取り組んだ結果、3件の変更契約の締結となった。

〔評価〕 計画目標を未達成。

(単位：件)

区 分		取組内容	契約件数 (R8.3末)	現況値	R8.3末 変更件数	R8～R9	R10目標値
計 画	市町村有林	土地所有者の協力を得て分収割合の契約変更を推進する。	50	50	50	達 成	50
	個人・共有林等		2,906	2,022	2,062		2,124
	計		2,956	2,072	2,112		2,174
	実 績		2,088		2,088		
達 成 率		%	71%		98.9%		

※現況値は、令和5年3月末までの契約変更実績件数。
地位級・地利級による施業団地区分の評価が高いもののうち、交渉可能な契約99件を対象とする。

【参考】

(単位：件)

区 分		取組内容	現況値	R6	R7	R8	R9	R10目標値
分収割合変更 契約件数	計 画	土地所有者の協力を得て分収割合の契約変更を推進する。		20	20	20	20	19
	実 績		2,072 (累計)	6	3			
	達 成 率			30%	15%	0%	0%	

※現況値は、令和5年3月末までの契約変更実績件数。

〔契約締結に至らない要因等〕

- ・交渉は重ねているが、分収割合を変更することの必要性が契約相手方に理解されない。
- ・共有地等で権利者が複数存在し、意見がまとまらない。
- ・分収割合の変更と契約期間の延長を一体的に進め、長伐期施業複層林化により、所有者が主伐後に植栽が不要になる等のメリットを併せて説明するなどして、同意取付けを図る必要がある。

5 公庫借入金の繰上償還による利子負担の軽減

不成績林等について契約解除に向けた協議を進め、政策金融公庫借入金の繰上償還を行う。

〔目標〕 30,000千円の公庫資金繰上償還に取り組む。

〔実績〕 1契約地について、13,779千円の繰上償還を実施した。

〔評価〕 計画目標を未達成。なお、契約の一部解除に伴う繰上償還（11,012千円）を含めると、24,791千円（目標額の82.6%）となる。また、いまだ任意の繰上償還は認められていない。

(単位：千円)

区 分		取組内容	現況値	R6	R7	R8	R9	R10目標値
公庫資金 繰上償還額	計 画	政策金融公庫借入金の繰上償還を行う。		30,000	30,000	30,000	30,000	30,000
	実 績		7,205	15,716	13,779			
	達 成 率			52%	46%	0%	0%	

※現況値は、令和元年度～4年度の4か年平均値。